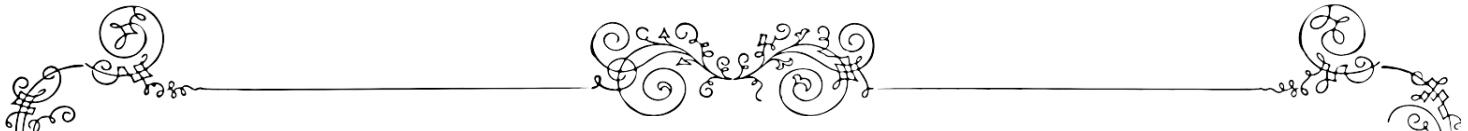




# 学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校  
令和7年12月22日(月)  
第5号  
〒089-0615 中川郡幕別町南町81番地1  
電話 0155-55-2121  
FAX 0155-55-2122



「令和7年を振り返って」

校長 佐藤貴雄

今年も、もうあと何日か過ぎると令和7年も終わりを告げます。皆さんにとって今年はどのような年だったでしょうか？良い一年だった、楽しい一年でした、そう感じてもらっているのならとても嬉しく思います。私にとって令和7年は再び幕別分校に関わることができた記念すべき年になりました。久しぶりの校舎や学校行事、そして皆さんのが過ごしている様子を見て、分校に帰ってきたんだ、そう実感し、幸せに楽しく過ごした一年でした。

さて、今年の大きな出来事と言えば「大阪・関西万博」が思い出されます。開幕前には「世紀の失敗」などと予想されていましたが蓋を開けると2557万人超の入場者数を記録。予想を大きく覆し大成功で幕を下ろしました。なぜ前評判を覆すことができたのか。様々な成功要因があげられていますが、「スタッフの献身」が重要な要素だったそうです。どのような働きぶりだったか、次のように報道されています。

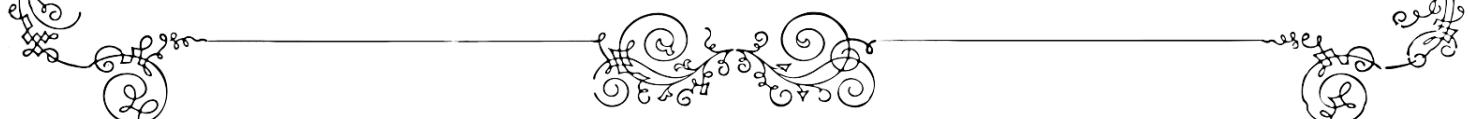
「どのポジションのスタッフも『やらされている感』は全くなく、かといってあまり表に出ようともせず、肃々と、そして嬉々としながら来場者の思い出作りをサポートに徹していた」

短い文章ですが働くうえで必要な心の要素が全部詰まった表現となっています。「やらされている感」がにじみ出ているとお客様は不快を感じますし、「肃々と、そして嬉々と～」では「大切に思われている」や「寄り添う姿勢」をお客様は感じることができたのではないでしょうか。どんなに大きいイベントでも、目新しいことばかりでも、人の心を動かすのは、最後は人の心。そのことを教えてくれているように感じます。生徒の皆さん、特に3年生の皆さんには来春から社会人です。働くうえでの気持ちとして参考にしてみてはいかがでしょうか。

また、公式キャラクターの「ミャクミャク」。覚えているでしょうか？大人気でグッズは売り切れ続出するなど一大ブレーク。しかし三年前に発表されたときはかなり評判が悪く、「気持ち悪い」「不気味」という声も。なぜ人気ものになったか？そのことに対する、ある心理学者は「慣れ」からくる「好き」と解説しています。「心というものは何度も経験するうちに脳内の処理が慣れて楽になる」という性質を持ち、経験から好きになることもあります。きっと皆さんも作業学習か何かで似たような経験をしているのではないでしょうか。「石の上に三年」ではありませんが慣れるというのも働くうえで大切で必要な要素の一つです。

万博を題材に「働くこと」をお話しましたが、幕別分校を卒業していった先輩たちも同じように様々な場面で働くことを考え方び諭されてきました。本校にはそのような働くことにかけての熱い思いが脈々と伝わっております。冬休みのお時間のある時、ぜひご家族で働くことについて色々お話ししてみてはどうでしょうか。

最後になりますが、保護者等の皆様におかれましては今年一年本当にお世話になりました。来年も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。





# 宿泊 研修



1学年は、10月9日（木）から10日（金）にかけて宿泊研修を行いました。今年度は、「個人・学年のパワーアップ」「スマートな行動」「ギブ＆テイク」の3つのスローガンを元に、学年レクや自主研修などの計画を自分たちで行い、当日も運営・生活係の生徒たちが主体となって活動しました。

研修を振り返り、生徒たちは「仲間意識が強くなった」「周りの意見を聞いて、自分の意見もしっかり言うようになった」などの成長点や、「人任せにせず、自分から動く」「自分で場所や時間の確認をしなくてはいけない」などの課題があがりました。今後も、1学年がさらにパワーアップしていくよう、教職員も一丸となって取り組んで参ります。

1日目は、羽田空港から浅草に移動して「雷門」「浅草寺」「仲見世」を散策し、その後移動し、「東京スカイツリー」見学（全員 展望台まで上がりました）「ソラマチ」で買い物・食べ歩き・夕食など、初日から多くの活動をしました。2日目は朝からあいにくの雨でしたが、3つのグループに分かれて「都内自主研修」を行いました。

どこで何を見るか、どこで何を食べるか、どんな順番でまわるかなど、初めての地域・場所

の中、グループの仲間で話し合い、協力しながら活動することができました。3日目は「東京

ディズニーランド」での自主研修でした。グループで相談しながら計画し、買い物や食事をし

たり、アトラクションに乗って笑い合ったりと、楽しくいろいろな経験をすることができたの

では…と思っています。

この4日間の様々な体験を通して、初めて見聞したことで視野が広がり、人間・友人関係の

理解や絆が深まったと感じています。今後、この見学旅行での経験や学びを生かし、残りの学

校生活に取り組んでくれることを期待しています。

保護者の皆様におかれましても、準備から送迎まで様々な面で御協力いただき、誠にありが

とうございました。

宿泊研修担当：河 村 ゆりか



# 見学 旅行



2学年主任：石 田 恭 子

